

令和6年度 宮城県社会福祉士会 行政社会福祉士部会 研修会 開催要領

1 趣旨

令和5年に発足した宮城県社会福祉士会行政社会福祉士部会では、①行政社会福祉士の役割や業務特性を認識し、求められる能力とその向上の必要性について理解を深める機会の提供②業務遂行に資するネットワーク構築の契機となる機会の提供を事業活動方針に掲げ、取り組んでいるところです。

このたび、行政機関に所属する社会福祉士が、福祉行政の法制度について理解を深めることで、福祉行政職員としての能力向上を図ることを目的に研修会を実施するものです。

2 参加対象及び定員

以下いずれかの該当者 定員40名程度

- ①社会福祉士資格を持ち、自治体に所属する職員（正職員以外も可）
- ②県内自治体に雇用され、福祉分野配属の社会福祉士資格取得予定者

3 日時

令和6年10月26日（土）

13:00 受付開始

13:30～16:45（予定）

4 会場

多賀城市市民活動サポートセンター（愛称：たがさぼ）3階 大会議室
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25番3号 TEL022-368-7745
駐車場 有（70台程度） JR仙台駅多賀城駅北口徒歩8分

5 プログラム（変更となる場合があります。）

13:30 開会

開会あいさつ

13:40 講演

（仮）「福祉行政の法制度理解」
～基本に立ちかえり確認しよう～

講師

岩手県立大学社会福祉学部 客員教授 齋藤 昭彦 氏

※講師プロフィール

1979年岩手県に社会福祉職として入庁。県福祉事務所で生活保護ケースワーカー等として14年勤務後、本庁で社会福祉法人指導、地域福祉、知的障害者福祉、高齢者福祉・介護等を担当し、地域福祉課総括課長、長寿社会課総括課長など歴任。2015年に岩手県立大学に入職し、社会福祉学部准教授、教授を経て2021年から客員教授。自身の経験・研究を踏まえて、福祉行政職員を目指す学生や自治体職員に向けて「自治体福祉行政の実際と福祉行政職員の専門性」について発信している。2021年度に岩手県から「重層的支援体制構築アドバイザー」を受任し、市町村での研修会の講師や支援会議の助言等を行っている。

14:50 実践報告 行政社会福祉士部会 部会長 鈴木 鏡子

※報告者プロフィール

現在富谷市保健福祉部地域福祉課長。障がい保健福祉担当及び地域生活支援担当（生活保護及び生活困窮）を所管している。

15:10 休憩

15:20 グループワーク

16:00 グループワーク発表

16:30 アンケート回答

16:45 閉会

6 参加申込み方法

下記のQRコードより令和6年10月10日(木)までお申し込みください。

URL <https://forms.gle/NVfRFtdW4TakTtnt8>

QRコード →



7 その他

- ① 当研修では、氏名・勤務先を記載した名簿を研修受講者に配布することがあります。申し込みの際に名簿掲載について確認をいたします。
- ② 定員に達した場合は調整させていただくことがあります。